

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達サポートはばたき（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 3 月 13 日		～	令和 7 年 3 月 26 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数)	7人
○従業者評価実施期間	令和 7 年 3 月 13 日		～	令和 7 年 3 月 26 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 27 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内空間の個室や部屋数の充実さ。	大部屋が2つ分けて活動できたり、との仕切りがあることで気持ちの切り替えや聴覚に敏感なお子さんが個室で過ごしやすさから、特性あるお子さんの居場所になっている。	より、安心できる時間や部屋の居場所の確保が適切であるか判断したうえで支援の提供が図れるようになったらと思う。
2	小学校高学年から中学・高校生に対する学習支援の充実化や高校進学や卒業後に向けた進路の話し合いや職業体験を活動に提供できること。	一人一人のお子さんとお話ししながら学習内容について、将来についての見通しを話し合い、ご家族からの話し合いも含めた状態で具体的な活動内容を実践できるよう事前に圭角を立てることができる。	走行政や先輩のお話や体験談を実際に聞くことができる機会を設ける。
3	同年代同士での交流が深まり対人関係の構築が良く、戸外活動や社会体験の充実化	SSTを意識した活動や戸外活動を重視していきたい	より具体的に見通しや事前のスケジュールを把握できる準備が必要。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所の交流会に年齢が低いお子さんとの交流に苦しさを感じるお子さんがいる。	年齢の低いお子さんの元気な様子（動きや声）の刺激が苦しさを感じてしまう	静かな環境で過ごしていきたいお子さんには、より事前の報告や個室の過ごし方を配慮していく。年齢の低いお子さんの為にできることについて話し合う機会も取り入れていきたい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						令和 7 年 3 月 31 日	
児童発達サポートはばたき（児童発達支援）		利用児童数						13人	回収数 7人
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6			1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			1		職員の退職や入社の報告を徹底した対応として便りで随時報告していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	3		1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7						
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					毎月事例発表や定期的な勉強会を開催しながら専門的な知識を得られるよう努めていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	1		4			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			2			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6			1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		1	5			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	2	1	1			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	1	2		ご家族の皆さんが参加できる研修会など開催したいと思います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	2		2			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3		4		昨年より、親子参加行事（ハロウィン音楽会・クリスマス会・お別れ会等）開催しています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					ご家族からの相談には、その都度折り返しの電話対応や去年より時間外の対応としてメールでの対応を受付し迅速に対応しています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	3		3		毎月発行のお便りやホームページにて発信しています。周知に対応として便りの際報告を徹底したいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		2		5		事故、緊急時、防犯、感染症マニュアルの周知にホームページか資料を配布し周知・説明します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	2		4		年に2回災害訓練を実施し、便りやホームページにて報告していきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					安全な確保に対する室内空間や危険な場所の報告や予防対策の報告を便り等で周知していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	2		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7					
	29	事業所の支援に満足していますか。	7					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達サポートはばたき（児童発達支援）			公表日		令和 7 年 3 月 31 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準の人員は満たしているが、ゆとりある配置状態を確保するため、常に求人募集を依頼しています。	退職者が年に数人いたためその都度、適切に配置していきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	活動の時間と自由時間の過ごす居場所の固定化や職員の配置場所をその都度確認しています。	建物の構造上、段差や扉の数、死角的な空間が多くある為、厳重な配慮や過ごす空間の居場所指定など徹底する必要があります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	親子行事や送迎の際把握する機会を設けていきたいと思います。	保護者等の意向等を把握する機会は少なかったです。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、検討予定		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月研修を開催しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画における留意事項やその都度必要性の療育方法や対応策を周知し、共通理解を図るように努めています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		5領域で反映しています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域をもとに随時支援内容を確認しながら情報を共有しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		会議の中で、意見交換し合いながら工夫しています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		お休みしていた職員に周知漏れが無いよう、大事なことでないにも記録に残し周知して連携を図るようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		毎月数人ケア会議を開催しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		パーソナルティーチャーを活用したケースがあります。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		公民館や図書館、公共の場を活用した際交流することがあります。今後も交流の機会を増やしていきたいです。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時にお伝えしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		面談や実際に活動を見ていただくようにしています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		毎月職員会議の際、留意すべき点を周知しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に発症を想定した訓練を実施できるよう検討していきます。	職員との周知や訓練は図っていますが家族等にお知らせする機会を設ける。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを元に実施できるように努めています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント、フェイスシートを更新しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメント、フェイスシートを更新しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	詳しくより安全に非常時等の対応が図れるよう検討していきます。	安全管理が全て十分ではない為、今後見直しして検討していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	口頭での安全確保の周知のみなので、より具体的に家族等周知できる手段を図ります。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		その都度情報共有し再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待が発生しないよう、厳重に現場での観察や職員研修機会を開催していきます。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			